

平成26年度 第1回運営委員会



平成26年5月23日(金)広島市において、山当連合会会長をはじめ25名出席のもと、「平成26年度第1回運営委員会」を開催した。

議事に先立ち、農林水産省中国四国農政局長 田野井 雅彦 氏から「中国地域の農業・農村の活性化に向けて～『農林水産業・地域の活力創造プラン』の展開～」と題してご講演をいただいた。

【講演内容】

田野井局長は、農業従事者の高齢化・後継者不足など、農業を取り巻く課題を数多く抱える中国地方にあって、「強い農林水産業」「美しく活力ある農山漁村」に向けた活力創造プランについて説明され、農山村再生の視点からの今後の農業・農村政策の方向性を示された。

中国地域の農業・農村の活性化に向けて
～「農林水産業・地域の活力創造プラン」の展開～

1. 中国地域の農業・農村をめぐる事情

○農地の現状

中国地域は、経営耕地面積に占める中山間地域の割合が約7割と全国(37.7%)を大きく上回っている。

○耕作地面積と耕作放棄地の推移

中国地域の耕作面積は、過去46年で約20万ha減少。中国地域の耕作放棄地率(19.5%)は、全国(10.6%)の2倍に近い水準。

○基幹的農業従事者の推移

農業を支える基幹的農業従事者は50年間で1/7強まで減少。中国地方でも同様の傾向。

○担い手の高齢化

中国地域では、全国より高齢化が早く進行。中国地域の基幹的農業従事者の平均年齢は70.5歳(全国66.1歳)。

2. 「農林水産業・地域の活力創造プラン」の展開

(1) 4つの改革の推進

- ① 農地中間管理機構の創設
- ② 日本型直接支払制度の創設

- ③ 経営所得安定対策の見直し
- ④ 水田のフル活用と米政策の見直し
- (2) 需要のフロンティアの拡大
 - ① 新たな国内ニーズへの対応
 - ② 食文化・食産業のグローバル展開
- (3) 需要と供給をつなぐバリューチェーンの構築
 - ① 多様な事業者と連携した6次産業化の取組支援(A-FIVE)の本格展開
 - ② 地域資源を活かした再生可能エネルギーの導入促進
 - ③ 生産・流通システムの高度化
 - ④ 新品種・新技術による我が国農業の「強み」の発掘・強化

[詳細は中経連ホームページでご覧下さい]

HOME—会報クリップ—委員会活動報告—2014年7月号

【運営委員会 議事内容】

講演に続いて議事に移り、6月13日(金)開催の理事会・定時総会への付議議案(以下4件)について審議し、承認された。

- ① 平成25年度事業報告(案)・収支決算(案)
- ② 平成26年度事業計画(案)・収支予算(案)
- ③ 役員等選任(案)
- ④ 新会員(案)

平成26年度事業計画については、引き続き中国地方の持続的・自立的な発展を目指して、「地域産業の競争力強化」「社会基盤整備の促進」「地域の自立と活性化」の3つの柱を基に事業に取り組んでいくことが了承された。

(担当：高見)